

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名:ほのかのおひさま

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	9	2	0	・人数に合わせて各フロアを分けている。 ・密にならないよう工夫している。 ・利用定員が超過しないよう、予約の時点で調整している。	27	1	0	0	多分。
	2 職員の適切な配置	9	2	0	・国で定められた基準を満たして配置している。 ・利用する子どもの状況に応じて基準人員以上の職員を配置している。 ・職員の余剰があればよいと思う時がある。	26	0	1	1	多分。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	4	0	・十分な環境とは言えないが、状況や場面、一人ひとりの特性に合わせた配慮を行っている。 ・流れがわかっている子どもも多いが、初めて利用する子どもにはもっと配慮が必要。	26	1	0	1	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8	3	0	・毎日清掃している。感染対策として消毒も毎日行なっている。 ・玩具等の片付けを行ない、子どもたちが使いやすいようにしている。 ・鏡など、細かい所の掃除が行き届いていないことがある。	26	0	0	2	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	8	3	0	・事業所計画に基づいて実施している。 ・細かなチェック項目や記録が増えており、職員のモチベーションや負担感に影響している。 ・広く職員が参画しているとは言えない。	/	/	/	/	/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1	5	5	・外部評価は利用したことがない。	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	11	0	0	・年間の研修計画を設定し、実施している。法人の研修や事業所独自の勉強会、外部の研修に参加している。	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	11	0	0	・利用に際しての見学・体験時に、状況や課題、ニーズの確認を行なっている。 ・定期的に職員全員でモニタリングを行ない、状況確認や新たな課題の設定、適宜、保護者にニーズの確認を行ない、個別支援計画の作成をしている。	27	1	0	0	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	10	1	0	・定期的なモニタリングを通して、支援方法のアセスメント、評価を行ない、具体的な支援内容について記載している。	27	1	0	0	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	10	1	0	・個別に行なうものと集団で行なうものに分けて目標を設定している。	/	/	/	/	/
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	4	0	・個別支援計画の内容を職員全員が把握し、支援内容に反映されるように努めている。 ・ご利用日には計画書に目を通すように仕組みづくりをしているが、十分できていない時がある。	27	1	0	0	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	9	2	0	・職員全員で意見を出し合い、話し合っ決めていく。 ・自分からイベントの発案ができていない職員もいる。	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	10	1	0	・固定化されたものもあるが、新しい取り組みができるようイベントや集団活動などを考え、話し合いを行っている。	21	2	1	4	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	3	1	・利用時間の長短があるので、フレキシブルに対応している。 ・コロナが5類になったので、もう少し交流などの活動を取り入れたい。 ・きめ細やかな支援には至っていない部分もある。					
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	11	0	0	・毎日朝礼を行ない、スケジュールの確認をし、役割分担を決めている。					
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	10	1	0	・毎日反省会で振り返りし、支援内容や情報共有を行ない、次の支援に活かせるようにしている。 ・情報共有が十分でないところがある。					
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	9	2	0	・毎日支援記録を記入し、保護者に見て頂いている。支援記録以外にも、必要時には個別の経過記録を記載し、情報共有、振り返り行なっている。 ・記録に抜けがあることもあるので、気を付けていきたい。					
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	11	0	0	・モニタリング会議の日を設定し、職員が参加している。目標や支援内容についての評価を行なった上で、見直しをしている。					
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8	2	0	・児発管や担当職員が参加している。 未回答1					
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	5	5	0	保護者を通じて情報共有を行なっていることが多い。訪問看護等への報告、連絡、相談をしている。 未回答1					
関係機関との連携（続き）	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	8	3	0	・主治医から必要な医療的ケアに対する指示書を頂いている。緊急時の病院への連絡方法等についても確認している。					
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間の支援内容等の十分な情報共有	10	1	0	・児童発達支援事業では、地域の幼稚園への移行に際し、相談支援専門員と情報共有している。					
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5	5	1	・相談支援専門員や他事業所の職員と情報共有している。					
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	4	1	・県や市の連絡協議会に参加している。 ・児童発達支援センターへ研修を依頼し、実施した。今年度も行なう予定としている。 ・発達障害者支援センターの研修に参加した。					
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	1	10	・コロナ禍では、実施することができていなかった。今後検討したい。	3	3	2	19	通所して日が浅いため。コロナ禍終了とはいえ、基礎疾患の子どもばかりなので難しいのでは。 未回答1
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	1	10	・コロナ禍では、実施することができていなかった。今後検討したい。 ・法人内の高齢者施設との交流は行なっている。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価						
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	2	0	・見学や契約の際に説明を行なっている。パンフレットや文書を準備している。	27	1	0	0	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	9	2	0	・計画書を保護者に確認して頂きながら、説明を行なっている。	28	0	0	0	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	0	5	6	・保護者からお話を伺い、適宜相談や助言を行なっている。 ・ペアレント・トレーニングはしていないが、研修に参加しペアレントトレーニングの取り組み事例や実態の把握は行なった。	13	2	2	9	個別支援計画書に家族支援も挙げられており、困り事の際の対処をもらったりして助かっている。 未回答2
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	3	0	・日頃からお話を伺い、情報共有を行なっている。	26	1	1	0	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	4	0	・保護者からお話を伺い、適宜相談や助言を行なっている。	20	3	2	2	未回答1
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	3	8	・コロナ禍では実施することができていない。今後実施を検討したい。	0	3	5	20	通所して日が浅いため
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8	3	0	・苦情があった場合は迅速に対応を行なっている。	16	1	1	10	苦情がない
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	10	1	0	・視覚的な支援として写真やカードを利用したり、コミュニケーションツールとしてタブレットを利用したりなど、工夫している。	25	2	1	0	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	10	1	0	・おひさま新聞の定期的な発行、ホームページのスタッフ通信の更新を行ない、発信している。	26	0	0	2	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	11	0	0	・個人情報の取り扱いに留意し、業務を行なっている。	26	0	1	1		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	4	0	・マニュアルを整備し、職員間で訓練、シミュレーションを行なっている。 ・保護者への周知が十分ではないので、今後検討したい。	20	1	1	6	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	11	0	0	・マニュアルを整備し、職員間で訓練、シミュレーションを行なっている。 ・保護者への周知が十分ではないので、今後検討したい。	15	0	0	13	通所して日が浅いため
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	11	0	0	・虐待防止委員会の設置を行ない、3ヶ月に1回話し合いをしている。年1回の研修を行っている。					
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	11	0	0	・身体拘束適正化の委員会を設置し、3か月に1回話し合いをしている。年1回の研修を行っている。					
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	4	1	・食物アレルギーを有する児童を職員が把握し、事業所で提供する際には気を付けている。アレルギーに関しては指示書は頂いていない。					
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	11	0	0	・ヒヤリハットを作成し、周知している。後日振り返りを行ない、職員間で話し合いをしている。					